



陽光地区地域ビジョン

みんな 笑顔 かがやく 陽光



平成30年3月

陽光地区まちづくり推進協議会
(陽光地区地域ビジョン策定委員会)



陽光地区地域ビジョン

みんな 笑顔
かがやく
陽光

平成30年3月

陽光地区まちづくり推進協議会
(陽光地区地域ビジョン策定委員会)

目 次

| | |
|-------------------------------------|----|
| I 発刊にあたって 陽光地区まちづくり推進協議会長 小栗 秀夫 …… | 1 |
| II 策定にあたって 陽光地区地域ビジョン策定委員長 岡田 義治 …… | 2 |
| III 陽光地区のシンボル …… | 3 |
| IV 陽光地区の変遷と展望 …… | 4 |
| V 陽光地区地域ビジョン策定方針と6つの柱 …… | 5 |
| VI 陽光地区のまちづくり重点項目と行動計画 …… | 7 |
| VII 地域ビジョンを実践するための行動計画 | |
| 1 子どもの健全育成を目指したまちづくり …… | 8 |
| 2 高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり …… | 10 |
| 3 安全・安心で住みよいまちづくり …… | 11 |
| 4 心身ともに健康で明るいまちづくり …… | 12 |
| 5 うるおいのある街並みと環境美化に配慮したまちづくり …… | 13 |
| 6 歴史と文化を大切にしたまちづくり …… | 14 |
| VIII 各種団体・目的団体事業計画作成様式 …… | 15 |
| IX 陽光地区「地域コミュニティに関するアンケート調査」結果(抜粋) | |
| 1 住民アンケートの主な結果 …… | 16 |
| 2 小・中学生アンケートの主な結果 …… | 19 |
| X 参考資料 | |
| 1 陽光地区地域ビジョン策定委員会設置要領 …… | 21 |
| 2 陽光地区地域ビジョン策定の経過 …… | 22 |
| 3 陽光地区地域ビジョン策定委員名簿 …… | 24 |

表紙の写真は、陽光地区の航空写真です。

陽光地区地域ビジョン

発行年月日 平成30年3月16日
発 行 者 陽光地区まちづくり推進協議会
(陽光地区地域ビジョン策定委員会)
事務局：陽光地域コミュニティセンター内
☎ 028-658-3373
印 刷 所 ㈱ヤスノプランニング

I 発刊にあたって

陽光地区まちづくり推進協議会長 小 栗 秀 夫

近年、社会を取り巻く環境は、価値観やライフスタイルの多様化、少子・高齢化の進行、地域における連帯感の希薄化など、大きく変化しています。

陽光地区は、県が推進する総合スポーツゾーンの真ん中に位置し、施設整備及びその周辺道路が整備され、公共交通空白地帯に新設バス路線「今宮線」が運行されました。

昭和40年代初期に開発された大規模の宅地に入居した住民が定年を迎え、一挙に高齢世帯や独居世帯、空き家・空き地が目立ってきたことなど新たな問題がでてきました。

こうした状況を踏まえ、陽光地区まちづくり推進協議会は、このような情勢に的確に対応し、新たな目指すべき未来像を作る重要な時期であると考え、宇都宮市からのビジョン策定要請を快く受諾し、平成28・29年度の2か年間、陽光地区地域ビジョン策定の作業に着手しました。

平成28年度は、陽光地区住民の意識調査のアンケートを全世帯に、更に、小・中学生たちの将来への希望・意見等のアンケート調査を実施いたしました。

平成29年度は、ビジョン、陽光のシンボルとして、シンボルマーク、地区の花・木・鳥を募集し決定しました。

陽光地区まちづくり計画は、地域の現状と課題、地域の強みと弱み、これらに基づく目標やまちづくりの方向をまとめた「地域ビジョン」と地域ビジョンを実現するための具体的取組みをまとめた「行動計画」からなります。

陽光地区は生活に便利な地理的条件、豊かな自然、公共施設等があります。また、地域では年間を通して多くの行事が実施され、その協力体制が素晴らしい地域性であるなど未来に向けた発展の可能性を十分秘めています。

このような本地区の可能性を最大限に引き出しながら、将来に予測される陽光地区の飛躍をめざし「みんな 笑顔 かがやく 陽光」で暮らしていけるよう築き上げていくことが、私たちに課せられた責務であります。

地域住民の皆さんにこの計画を十分ご理解をいただき、地域住民の皆さんと陽光地区まちづくり推進協議会並びに連合自治会及び各種団体が一体となって、本計画を推進していくことが大切であると考えます。

終わりに、計画策定にあたり、一方ならぬご尽力をいただきました宇都宮市みんなでまちづくり課、南市民活動センター、並びにビジョン策定委員そして貴重なご意見を賜りました多くの方々に対して、心からお礼申し上げます。

Ⅱ 策定にあたって

陽光地区地域ビジョン策定委員長 岡田 義治

「陽光地区の地域ビジョン」を作成することが決まりました。平成27年5月16日の陽光地区まちづくり推進協議会の総会でのできごとでした。もともと陽光地区は行事が盛んで一通りの行事を行っています。それなのにまた改めてビジョンは必要なのか？という議論がありました。

平成27年度は、ビジョンについて勉強するという方針を掲げ実践しました。予算の範囲内で書籍を購入し、コミセンに備えて策定委員（15名）の方に貸し出して読んでもらいました。年度の終わり（平成28. 2. 6）には、明保地区明るいまちづくり協議会長をお招きして講演会を開催しました。

1年目は、グループ毎の活動を重視しました。グループは自主的に運営し、「足すこと、引くこと」があれば柔軟に解決することとし、便宜上第1～第6グループ（第1G自治、第2G学校・生涯学習、第3G交通安全・生活、第4G産業・技術、第5G歴史・文化、第6G未来開拓）に分けました。その中で、理念だけの議論ではなく、具体的に前に進むという意識から「地域アンケート」をできるだけ早い時期に実施していくという雰囲気が生まれました。そして平成29年1月～同2月末にかけて陽光地区の1,774世帯に配布して、1,105世帯からの回答を得ました。回答率62.3%は、6割以上が「ビジョンを肯定的に捉まえている」というもので画期的なものでした。

さらに、小学生・中学生を対象とした座談会、アンケート調査にも取り組み、大きな成果を得ることができました。

2年目は、「富屋はこうしてビジョンを作った」として、富屋地区地域ビジョン策定委員長の講演（平成29. 5. 13）をお聞きし、策定委員（最終的な委員数は34名）が改めてビジョンの取りまとめに向けた考え方を共有してから、アンケートの分析結果を基にビジョンの具体策の検討、取りまとめにあたりました。

特に、取りまとめにあたっては、地域コミュニティの課題の変化に注目し、地域住民の意識とニーズを的確に把握し、3年～10年のスパンでモノを考え、ビジョンに反映させることに努めました。各グループとも陽光地区の将来に真摯に向き合い「オール陽光」の精神でみんなが集約、策定したのがこの「陽光地区地域ビジョン」です。

最後になりましたが宇都宮市みんなでまちづくり課・南市民活動センターに熱心な御指導・御助言を頂きました。記して感謝申し上げます。

Ⅲ 陽光地区のシンボル

【シンボルマークの定めについて】

陽光地区のシンボルを公募し、多数の応募の中から、以下のものが選ばれました。学校名・地区名のイメージから「太陽」「光り輝く」「輝く子ども」「光りに向かって伸び行く子ども」「子どもの成長を見守りながら手をつなぐ大人たち」などに着目した作品が選ばれました。



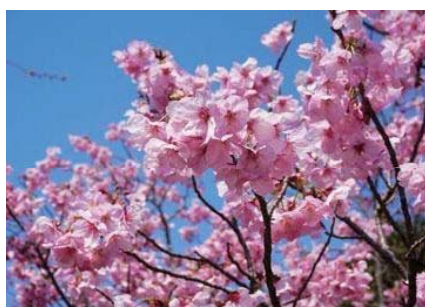
○シンボルマーク

「陽光」の名にふさわしい、太陽をモチーフにし、三色で「今宮」「緑」「江曾島」の三つの街をイメージしました。内側の小さい三角形は子どもたち、外側の大きな三角形は子どもたちを見守り包む大人たちを表現しました。



○花 ひまわり (向日葵)

キク科の一年草です。原産地は北アメリカ。夏から秋にかなり大きな黄色の花が咲きます。和名の由来は、太陽の動きにつれてその方向を追うように花が回ると言われています。実際に太陽を追って動くのは、成長が盛んな若い時期だけです。



○木 ヨウコウザクラ (陽光桜)

日本原産の交雑種のさくらで、アマギヨシノ（天城吉野）とカンヒサクラ（寒緋桜）を交雑させて作出した園芸品種で、環境適応能力が強いサクラです。花はソメイヨシノより早く咲き、一重で大輪、鮮やかなピンク色です。

※陽光コミセン西側に植栽されています。



○鳥 カナリア (金糸雀)

野生種はカナリア諸島に産し、名はカナリア諸島に由来しています。飼養種は、変化にとんだ羽色をしています。鮮やかな黄色をこの鳥にちなみ、カナリア色（カナリアイエロー）といいます。澄んだ美しい声でさえずります。

IV 陽光地区の変遷と展望

1 陽光地区の変遷

江曾島地区南西部は都市化の波が強く、昭和36年度より栃木県住宅供給協会は「西川田団地」として大規模の分譲を開始しました。この新団地は、現在の緑1丁目、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目に広がっています。これを核にして民間の不動産業者による開発も進み、平成28年で陽光地区の戸数は2,677戸、人口6,215人の大きな町に成長しました。

開発当初、緑4・5丁目は西川田町内のため姿川出張所管内に所属していました。各種の証明等を取るには姿川出張所に向いて行く不便さがありましたので、陽南出張所管内への編入を要望しました。緑4丁目は昭和44年3月に、緑5丁目は昭和55年4月にそれぞれ移管されました。なお、緑町という名称の正式表示は昭和39年7月ではありますが、緑4・5丁目の住居表示変更は、昭和59年2月でした。

昭和41年2月、江曾島土地区画整理組合が結成され開発が始まりました。この結果、江曾島本町、江曾島1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、今宮1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、春日町、緑1丁目と江曾島地区の面積100余㌔、計画人口13,000人に及ぶ区画整理が出来、新しいまちづくりが成功し、市を代表するベッドタウンとなりました。僅か数年の間に住宅の建設、縦横に走る道路網が整備され、都市化の息吹が感じられ、急激な人口増と相まって次第にまちの態様が整ってきました。

昭和55年、陽光小学校が建設されました。校名は、応募者多数の中から「陽光」が選ばれました。由来は、陽南出張所管内にあるということで「陽」を採り、また「光り輝く学校」の意から、「光」を採ったと言われています。校名に合わせて陽光地区という地区名がつけられたことは珍しいことでした。

陽光地区の各自治会は、緑が丘地区の傘下組織でありましたが、陽光小の開校や昭和58年に緑が丘・陽光地区のコミュニティセンターが陽光地区に整備されたことを機に、緑が丘地区からの分離気運が高まり、まず、昭和59年に陽光地区体育協会が独立し、昭和61年には陽光地区連合自治会が発足し今日に至っています。

2 陽光地区の展望

当地区内は公園、大型スーパー、病院、福祉施設などが充実し、県総合スポーツゾーンの施設整備と相まって、道路網が整備され、公共交通機関が開通し、住宅地として発展性の高い地域です。このため、人々が心安らぎ、健康増進が図られる健康・福祉の拠点として、発展していくものと思われます。陽光地区のまちづくりについては、自助・共助、住民役を基本としたこれまでの活動実績の上に立って、今後とも住民の創意工夫を生かした、活気あふれる活動が期待されます。また、当地区は新興都市として町が形成されたため、歴史的なものはほとんどない地域ですが、歴史はこれから地域をあげて積み上げていくものと考えています。

V 陽光地区地域ビジョン策定方針と6つの柱

【策定方針】

- 1 地域全体が10年後の陽光像（ビジョン）に共感して「オール陽光」でまちづくりに取り組んでいけるよう、地域の現状や課題について検討するとともに、住民アンケート、小・中学生アンケートを行い、地域の意見、要望を集約して、そこからまちづくりの柱を導き出してまちづくりの目標をつくる。
- 2 陽光小学校の創立以来、陽光小とともに歩んできた地域のまちづくりの歴史は、これからも変わることなく後世に引き継ぐべき大切な地域の資産であり、また、地域内には多くの文化資産があることを踏まえる。
- 3 ビジョンの策定期間は、平成28年度～29年度の2か年度とする。
- 4 ビジョンの目標期間は、10年後の平成39年度（2027年）とし、5年後の平成34年度（2022年）に、地域の実情を踏まえ、ビジョンの見直しを行う。

【目指す陽光像（ビジョン）】

“みんな 笑顔 かがやく 陽光”

【ビジョンの6つの柱】

- 1 子どもの健全育成を目指したまちづくり
- 2 高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり
- 3 安全・安心で住みよいまちづくり
- 4 心身ともに健康で明るいまちづくり
- 5 うるおいのある街並みと環境美化に配慮したまちづくり
- 6 歴史と文化を大切にしたまちづくり

※ 柱の選定理由

- 1 地域の資産を踏まえ最も重要視したのが、これまで地域で積み上げてきたまちづくりの歴史を継承、発展させる「青少年の健全育成」の課題です。青少年を地域で健全に育成することが重要であることはもちろんですが、将来は若い人が中心でありたい、決して大人が責任を放棄するのではなく、共同作業で進めて行きたいとの思いを込め、このビジョンが若い人の「足掛かり」となって、これからの地域のまちづくりが将来を担う青少年に引き継がれ発展していくことも含め「**子どもの健全育成を目指したまちづくり**」としました。また、地域の文化資産を活かして地域の活性化を図っていくため「**歴史と文化を大切にしたまちづくり**」としました。
- 2 アンケート結果を受けて柱建てを行いました。
 - (1) 「現在、地域の課題だと思うことや、ご自身が不安を感じていることはありますか」という問いについて
1位 「高齢者の増加と健康」49.6%

2位 「防犯や防災」が24.8%。

3位 「空き家や空き店舗の増加」18.3%。

の上位にあげられた項目から「高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり」,「安全・安心で住みよいまちづくり」,「心身ともに健康で明るいまちづくり」とするとともに、空き家、空き店舗の増加の課題を取りあげました。因みに「環境保全・街並みの美化」は4.9%と5位に入っています。

(2) 「あなたが【地域まちづくり計画】に是非取入れてほしいキーワード群は何ですか」という問いについては、次のとおりです。

1位 「安全, 安心, 防犯, 防災」64.8%

2位 「共に生きる, 助け合い, 交流の場, ネットワーク」41.7%

3位 「美しい, うるおい, 水と緑, 街並み, 公園, 憩い」18.6%

ここから、「うるおいのある街並みと環境美化に配慮したまちづくり」が生まれました。

3 その他の主なアンケート結果

(1) 「今後、地域で取組んでほしいことがあったら具体的にお書きください」という問いについて、61項目の意見がありました。その中で主なものは、次のとおりです。

ア 他地区に誇れるような活動の開発(歴史評価,清掃活動,買い物枠[°]-トシステム)

イ 地域内, 隅々まで防犯灯を設置し危険を回避する。

ウ 静かで, 環境・治安の良い生活場を作れるように取組む。

エ 小・中学生と大人ができるだけ交流をして, 立派な大人となるように地域みんなで育てていけたら良いと思う。

オ 子ども食堂に取組んでほしい。

カ 子どもを中心とした食育の活動と, 子ども不在の家庭も一緒に楽しめるイベントを地域に!

(2) 小学生・中学生のアンケートから

【小・中学生の意識】

| 陽光地区 | 陽光地区が好き | 陽光地区が嫌い | どちらでもない | 陽光地区に住みたい | 陽光地区に住まない | わからない | 回答数 |
|------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-------|-----|
| 小学生 | 76% | 6% | 18% | 26% | 17% | 57% | 168 |
| 中学生 | 65% | 3% | 32% | 22% | 18% | 60% | 156 |

【所見】

小・中学生の意識調査では、私たちのこれまでの青少年に対するまちづくり活動の成果が窺い知れるうれしい結果となりました。陽光が好きは小学生76% (中学生65%), 嫌いは、小学生6% (中学生3%) で、いずれも統計上の否定の項目に近いものです。陽光地区への郷土愛が育まれています。また、陽光地区に「住みたいか、否か」の質問には、小・中学生の約60%が「わからない」としています。常識的に言えば、自分の将来(就職とその職場, 結婚等)を見据えて、熟慮した答えではないか、と判断できます。

Ⅵ 陽光地区のまちづくり重点項目と行動計画

「ビジョンの6つの柱」を陽光地区のまちづくりの重点項目として、ビジョンで掲げた陽光像の実現を目指して、6つの柱ごとに、目標と3年～10年以内を実現したい具体策からなる「行動計画」を定めました。この計画は、これから概ね10年間の陽光地区のまちづくりの指針ともなるものです。

行動計画は、当該項目の具体策について、どの団体が、新規事業か継続事業かを踏まえ、いつまでに実施するのかを表したもので、次のとおりとなります。

- 1 各重点項目の下に記載した「団体名」は、当該事業を中心になって推進する団体。
- 2 「新規」は新規事業、「充実」は見直し充実を図る継続事業。
- 3 A・Bの記載は、Aは3年以内に事業実施するもの、Bは10年以内に事業実施するもの。

まちづくり重点項目

- 1 子どもの健全育成を目指したまちづくり
子どもの健全育成に関する行動計画
- 2 高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり
高齢者の健康維持と福祉についてのプログラムの提示
- 3 安全・安心で住みよいまちづくり
 - (1) 交通安全に配慮する計画
 - (2) 防災・防火・防犯等のためのチェックポイントの提示
 - (3) 広報（地域全体の広報システム）計画
- 4 心身ともに健康で明るいまちづくり
スポーツ・レクリエーション等の計画
- 5 うるおいのある街並みと環境美化に配慮したまちづくり
環境美化をどのように進めるかの行動計画
- 6 歴史と文化を大切にしたいまちづくり
歴史・文化を伝承・創造し、どう積み上げるかの行動計画



Ⅶ 地域ビジョンを実践するための行動計画

1 子どもの健全育成を目指したまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】【各自治会】【陽光地区青少年育成会】【陽光地区子ども会育成会】
【陽光小学校・陽光小学校PTA】【陽光小学校魅力ある学校づくり地域協議会】

◎ 目 標

子どもの健全育成に関する行動計画

- 1 心身ともに健康で明るく元気な子どもの育成
- 2 きまりを守り素直な心をもった子どもの育成
- 3 よわい人をいたわる心をもった子どもの育成
- 4 何事にも我慢できる心をもった子どもの育成
- 5 美しいものを愛する心をもった子どもの育成
- 6 夢の実現に希望をもって進める子どもの育成
- 7 故郷を愛し家族を愛しつづける子どもの育成

◎ 具体策

- 1 地域行事を通じた子どもの健全育成〔充実A〕
 - (1) ふるさと陽光まつり
 - (2) 陽光冬まつり（どんど焼き）
 - (3) 陽光キャンプ（学校へ泊まろう）
 - (4) 陽光スポーツフェスティバル（地域の歴史探訪ウォーキング等）
 - (5) 陽光地区福祉ボランティア活動（地域内福祉施設）
 - (6) 認知症サポーター養成講座
 - (7) 車椅子体験・手話等の福祉勉強会
 - (8) 陽光地区体育祭
 - (9) 陽光地区防災訓練
 - (10) 陽光地区敬老会
 - (11) 陽光地区体験流しそうめん
 - (12) 育成会研修会（見学研修会）
 - (13) ラジオ体操
- 2 大人が実践する子どもの健全育成のための事業〔充実A〕
 - (1) お散歩隊（登・下校指導）
 - (2) 救急法講習会（心肺蘇生法とAEDの取扱い）
 - (3) 「安全・安心」等地域内看板設置
 - (4) ストップマーク標示作業
 - (5) 陽光地区環境点検
 - (6) 陽光コミセン文化祭（模擬店）

3 陽光小学校・陽光小学校PTAにおける子どもの健全育成〔充実A〕

- (1) 学力・体力の向上
- (2) いじめ根絶に向けた、いじめゼロ強調月間・いじめゼロ集会等の実施
- (3) 農園活動（特別支援学級合同収穫祭）
- (4) 読み聞かせ
- (5) 親子ふれあい活動
- (6) 親子ふれあい給食会，お弁当の日・おにぎりの日
- (7) 地域の方への感謝の会
- (8) 体育館清掃作業
- (9) 手をつなぐ親の会活動
- (10) P T Aバザー
- (11) P T A奉仕作業
- (12) P T A安全パトロール
- (13) P T A学年別球技大会

4 今後地域で取組む子どもの健全育成（座談会・アンケート等より）

- (1) どんど焼きにおける「焼き芋」づくり〔新規A〕
- (2) 公園トイレ等清掃活動〔新規A〕
- (3) 地域内「あいさつ運動」の実施〔新規A〕
- (4) お囃子実践子どもチームの結成〔新規B〕
- (5) 地域行事等への活動家の育成・勉強会（交流会）の開催〔新規B〕
- (6) 地域内「安全マップ」の作成〔新規B〕

【小・中学生が考えた「将来の陽光地区の“夢の姿”」を一部ご紹介！！】

- ・ショッピングセンター等の誘致
- ・総合運動公園遊園地の子ども目線での魅力化
- ・電線地中化等による地域内美化
- ・スポーツゾーンを拠点（ターミナル）とした（宇都宮駅，雀宮駅，西川田駅，鶴田駅）バス路線の新設，駐車場の縮小
- ・小学校の空き教室を利用した施設（交番，コミセン，地域カフェ，保育所，診療所，美術館，駄菓子屋等）の誘致，整備（統合）
- ・コミセン，空き家等を活用した居場所づくり



2 高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】 【各自治会】 【陽光地区社会福祉協議会】

【陽光地区福祉協力員連絡会】 【陽光地区民生委員児童委員協議会】 【陽光地区老人クラブ連合会】

◎ 目 標

高齢者の健康維持と福祉についてのプログラムの提示

- 1 福祉のこころをはぐくむ“人づくり”
- 2 安心して暮らせる“仕組みづくり”
- 3 地域で支えあう“まちづくり”

◎ 具体策

- 1 福祉のこころをはぐくむ“人づくり”
 - (1) 若年世代による敬老会事業への積極的な参画〔充実A〕
 - (2) 高齢者と児童の世代間交流〔充実A〕
 - (3) 各種共同募金運動への積極的な取組み〔充実A〕
 - (4) 福祉ボランティアの養成と福祉講座の受講促進〔充実B〕
- 2 安心して暮らせる“仕組みづくり”
 - (1) 老人クラブ等高齢者団体への支援〔充実A〕
 - (2) 地域福祉に関する各種情報の積極的な発信〔充実A〕
 - (3) 福祉協力員による見守り活動の推進〔充実A〕
 - (4) 「陽光地区福祉のまちづくり計画」の策定〔新規A〕
- 3 地域で支えあう“まちづくり”
 - (1) 地域福祉ネットワークの構築と連携の強化〔充実A〕
 - (2) ふれあい・いきいきサロン事業の推進〔新規A〕
 - (3) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業の推進〔充実A〕
 - (4) 安心・安全情報キット配付事業の推進〔充実A〕

【事業を行うに当たっての基本理念】

住み慣れた陽光地区で、安心して暮らし続けることが私たちの願いです。

そのためには、近隣や地域がともに支えあい助け合うことが必要です。

- ・ 私たち一人ひとりが、豊かな生活を送るため努力する 【自助】
- ・ 豊かな地域づくりに協力・協働する 【共助】
- ・ 自助・共助で解決できない課題は、行政等の支援を活用する 【公助】

これら3つの「助」を基本理念に、“向こう三軒両隣”の地域社会実現を目指してまいります。

3 安全・安心で住みよいまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】 【各自治会】 【南交通安全協会陽光支部】
【陽光地区交通安全推進協議会】 【陽光地区婦人防火クラブ】 【陽光地区青少年育成会】
【陽光地区子ども会育成会】 【陽光地区防災会】 【宇都宮市消防団第9分団】

◎ 目 標

- 1 交通安全に配慮する計画
 - (1) 自動車運転・自転車等の交通安全マナーの向上推進
 - (2) 子どもや高齢者を交通事故から守る活動
 - (3) 夜間の交通事故防止の推進
- 2 防災・防火・防犯等のためのチェックポイントの提示
 - (1) 防災訓練の積極的な住民参加
 - (2) 防災及び危険個所のリストアップとマップの作成
 - (3) 高齢者と子どもが安心して暮らせるよう地域の防犯体制を高める
- 3 広報（地域全体の広報システム）計画
 - (1) 地域情報システムの構築
 - (2) 地域情報を共有するために受発信の仕組みをつくる

◎ 具体策

- 1 交通安全のまちづくり
 - (1) 事故を防ぐため危険個所のリストアップとマップの作成〔新規B〕
 - (2) 交通安全県民総ぐるみ運動の積極的な参加〔充実A〕
 - (3) 交通事故ゼロ活動の積極的な参加〔新規A〕
 - (4) お散歩隊の登校下校時の安全指導〔充実A〕
 - (5) 見守り隊の巡回パトロールの強化〔新規A〕
 - (6) 交通安全の標識版の掲示〔新規A〕
- 2 防災・防火・防犯等のまちづくり
 - (1) 各自治会における緊急避難場所の指定〔新規A〕
 - (2) 陽光地区の防災訓練の実施〔充実A〕
 - (3) 防犯パトロールの定期的な実施〔充実A〕
 - (4) 市生活安心課と警察の出前講座開催〔新規A〕
 - (5) 防災及び危険個所のマップ作成〔新規B〕
 - (6) 防犯看板の取付けと防犯ステッカーの作成と活用〔新規B〕
- 3 情報の共有化をはかるまちづくり
 - (1) 情報システムによる陽光地区広報誌に情報提供〔新規A〕
 - (2) 陽光地区の緊急連絡網の作成〔新規A〕

4 心身ともに健康で明るいまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】 【各自治会】 【陽光地区青少年育成会】 【陽光体育協会】
【陽光地区子ども会育成会】 【陽光地区老人クラブ連合会】 【陽光小学校PTA】

◎ 目 標

スポーツ・レクリエーション等の計画

◎ 具体策

- 1 健康ウォーキングの実施〔充実A〕
- 2 水中ウォーキングの開催〔新規B〕
- 3 輪投げ・グラウンドゴルフの実施〔充実A〕
- 4 球技大会の実施
 - (1) ニュースポーツを取り入れる〔充実A〕
- 5 地区体育祭の実施
 - (1) 陽光小よさこい音頭の導入〔新規B〕
 - (2) 年齢を考慮した種目の検討〔新規A〕
- 6 「陽光体操」の創作・実施
 - (1) 誰でも、どこでもできる体操の創作・実施〔新規B〕
- 7 「ニュースポーツの集い」の開催〔新規A〕
- 8 健康づくり推進協議会活動の推進〔充実A〕
- 9 健康診査受診の積極的な推進〔充実A〕
- 10 生活習慣病予防の普及・啓発〔充実A〕
- 11 シルバー料理教室の開催〔新規B〕



5 うるおいのある街並みと環境美化に配慮したまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】 【各自治会】

◎ 目 標

環境美化をどのように進めるかの行動計画

- 1 ごみの少ないきれいなまちづくり
- 2 緑にあふれたうるおいあるまちづくり
- 3 ペットと共生できるまちづくり

◎ 具体策

- 1 ごみの少ないきれいなまちづくり
 - (1) ごみステーションへの排出ルールの徹底〔充実A〕
 - (2) 自治会未加入者に対してごみS Tへの排出ルールの周知, 啓発〔充実A〕
 - (3) 自宅周辺の清掃等の周知, 啓発〔充実A〕
 - (4) 資源物集団回収の周知, 啓発〔充実A〕
 - (5) 資源物集団回収の回数の増加〔充実A〕
 - (6) 宇都宮市による分別講習会等実施〔新規A〕
 - (7) リサイクル施設の見学〔新規A〕
- 2 緑にあふれたうるおいあるまちづくり
 - (1) 公園の清掃推進〔充実A〕
 - (2) 公園花壇への花等の植栽〔新規A〕
 - (3) 空き家の繁茂した樹の伐採〔新規B〕
- 3 ペットと共生できるまちづくり
 - (1) 回覧板等によるルールの周知〔新規A〕
 - (2) 栃木県動物愛護指導センターによる講演会実施〔新規A〕
 - (3) 栃木県動物愛護指導センターの見学〔新規A〕



6 歴史と文化を大切にしまちづくり

【陽光地区まちづくり推進協議会】 【各自治会】

◎ 目 標

歴史・文化を伝承・創造し、どう積み上げるかの行動計画

◎ 具体策

- 1 現在の陽光地区及び周辺にある文化財的な施設の認識〔新規B〕
 - ア 滝尾神社たきお
 - イ 雷電神社らいでん
 - ウ 牛大日神社うしだいにち
 - エ 勝善神しょうぜんじん
- (2) 寺院
 - ア 龍泉院りゅうせんいん
- (3) 城郭
 - ア 瓢城ひさごじょう えそじまじょう（江曾島城）
- 2 文化財的な施設についての調査研究の実施〔新規B〕
 - (1) 滝尾神社〔本堂に刻まれた彫刻など〕
 - (2) 雷電神社〔雷電神社いわれなど〕
 - (3) 牛大日神社〔牛の信仰性など〕
 - (4) 勝善神〔勝善神いわれなど〕
 - (5) 龍泉院〔龍の由来など〕
 - (6) 瓢城（江曾島城）〔由来・沿革など〕
- 3 文化財的な施設についての調査発表会の実施（10年継続を目標）〔新規B〕
 - (1) 陽光地区コミュニティセンターを会場とした発表会の実施
 - (2) 「陽光コミュニティだより」に調査発表会の詳細を掲載



Ⅷ 各種団体・目的団体事業計画作成様式

各種団体・目的団体事業計画書

作成年月日 平成 年 月 日

| | | | |
|-----------------------|------------|-------------|---------------------------|
| 団 体 名 | | | |
| 代 表 者 名 | | | |
| 10 年 後 の め ざ す 目 標 | | | |
| 具 体 策 | 事業項目・事業内容等 | 新規・ 充実の別 | A (3年以内実施) B (10年以内実施) |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 備 考 | | | |

Ⅸ 陽光地区「地域コミュニティに関するアンケート調査」結果(抜粋)

平成29年1月に実施しました陽光地区「地域コミュニティに関するアンケート調査」につきましては、地区の皆様をはじめ、小・中学生の皆様にもご協力いただきありがとうございました。おかげ様で、自治会は1,105世帯、小・中学生は324名のご回答をいただきました。

今回、その結果につきましてご報告するとともに、今後のビジョンの策定の参考にさせていただきます。

陽光地区まちづくり推進協議会・ビジョン策定委員会

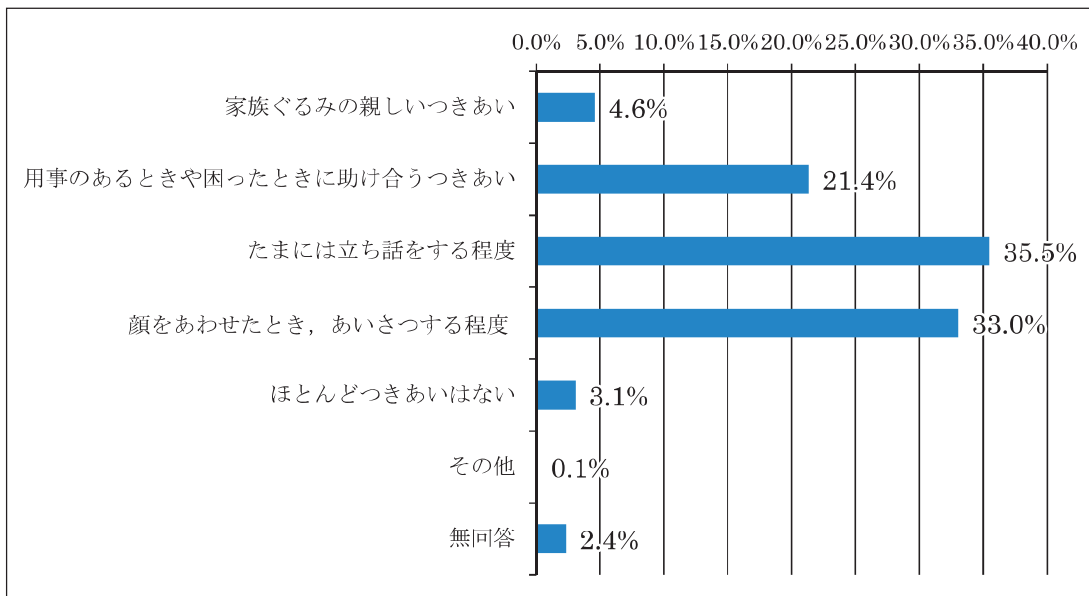
1. 住民アンケートの主な結果

○調査概要：平成29年1月実施，回答1,105世帯（調査世帯数1,774世帯，回収率62.3%）

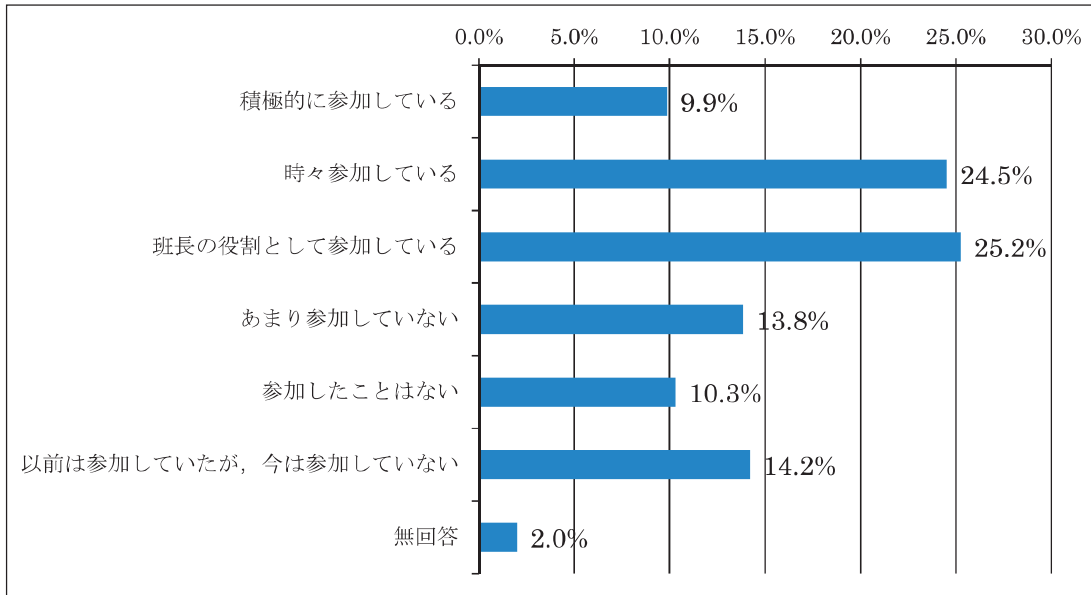
【アンケート回答者】

- (1)性別：男性438名（39.6%） 女性642名（58.1%） 不明25名（2.3%）
- (2)居住年数：20～30年（63.3%） 10～20年（12.6%） 5～10年未満（8.2%）
- (3)住まいのタイプ：持家一戸建て（90.2%） 借家戸建て（2.5%） 集合住宅（2.2%）
- (4)居住人数：2人（38.5%） 3人（23.0%） 4人（17.5%） 1人（10.1%） 5人（5.7%）
- (5)居住構成：親・子（45.1%） 夫婦のみ（31.1%） 親・子・孫（10.0%）

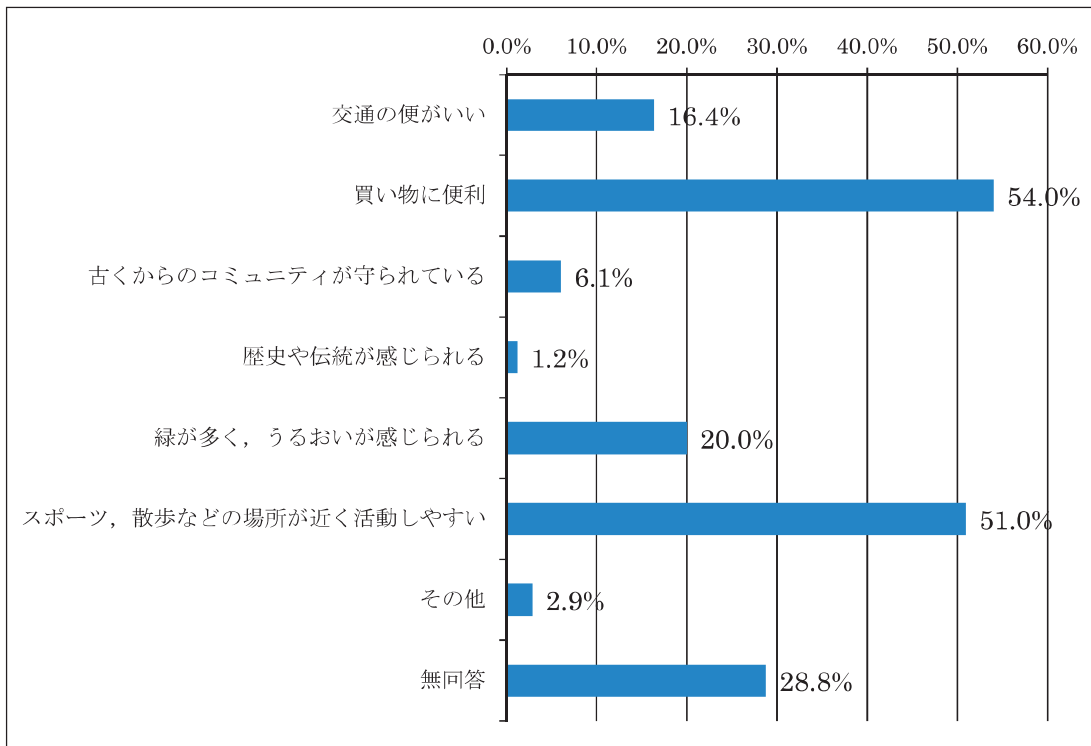
問1 あなたと、ご近所（概ね同じ自治会の範囲）の人とはどの程度のお付き合いですか。



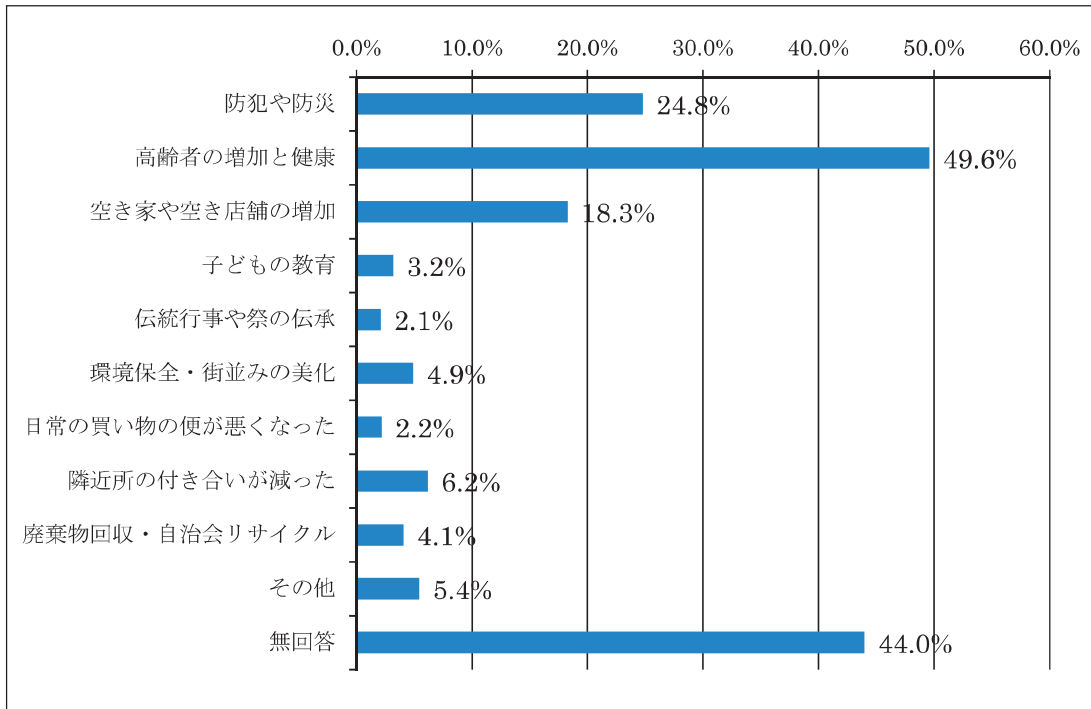
問2 あなたは地域の行事や活動にどれくらい参加していますか。ここでいう地域の行事・活動とは各種団体行事，コミュニティセンター事業，PTA活動などを含みます。



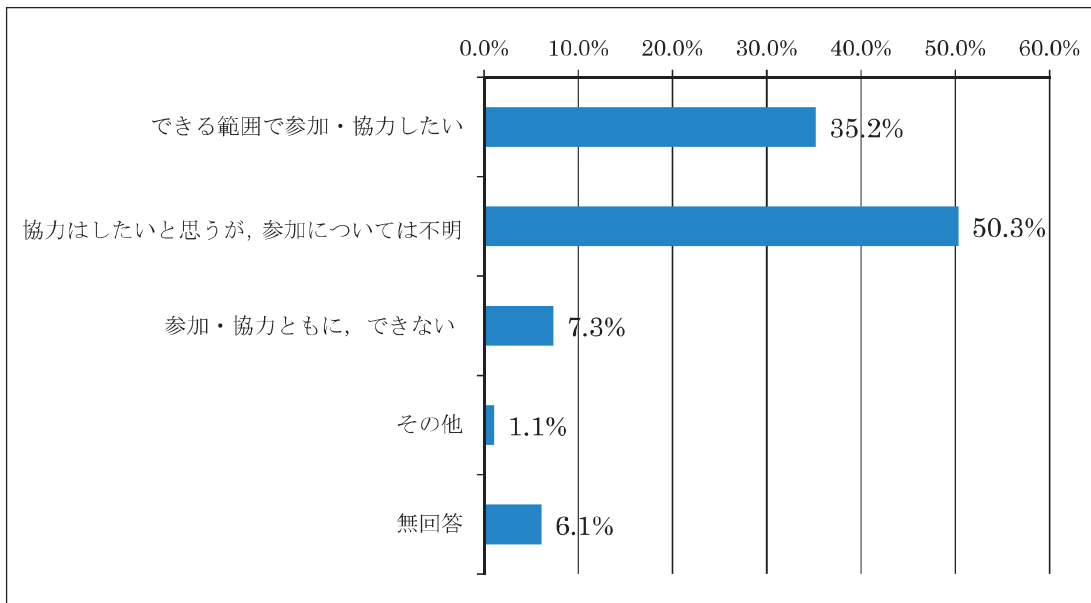
問3 あなたご自身が感じる陽光地区の良さは、何だと思えますか。



問4 現在、地域の課題だと思ふことや、ご自身が不安に感じていることはありますか。



問5 あなたは、陽光地区（または、自治会）の今後のまちづくり活動に参加・協力したいですか。



2. 小・中学生アンケートの主な結果

○調査概要：平成29年1月実施，回答324名（陽光小学校 168名，陽南中学校 156名）

問1 あなたは自分が住んでいる陽光地区が好きですか。

| | 好き | 嫌い | どちらでもない |
|-----|--------------|------------|-------------|
| 小学生 | 76.2% (128名) | 6.0% (10名) | 17.9% (30名) |
| 中学生 | 65.4% (102名) | 2.6% (4名) | 32.1% (50名) |

問2 大人になって陽光地区に住んでいたいと思いますか。

| | 住みたい | 住まない | わからない |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 小学生 | 26.2% (44名) | 16.7% (28名) | 57.1% (96名) |
| 中学生 | 21.8% (34名) | 17.9% (28名) | 60.3% (94名) |

問3 陽光の地域行事に参加したことはありますか。

| | 小学生 | 中学生 |
|---------------|--------------|--------------|
| ふるさと陽光まつり | 82.1% (138名) | 79.5% (124名) |
| 陽光冬まつり | 79.8% (134名) | 78.2% (122名) |
| 陽光キャンプ | 57.7% (97名) | 57.1% (89名) |
| 陽光スポーツフェスティバル | 14.9% (25名) | 31.4% (49名) |
| 陽光地区体育祭 | 60.7% (102名) | 73.1% (114名) |
| 陽光地区防災訓練 | 39.3% (66名) | 42.9% (67名) |
| 陽光地区福祉ボランティア | 10.7% (18名) | 12.2% (19名) |
| 陽光地区敬老会 | 8.3% (14名) | 16.0% (25名) |
| 陽光地区環境点検 | 4.8% (8名) | 4.5% (7名) |
| 陽光地区文化祭(模擬店) | 54.2% (91名) | 52.6% (82名) |
| 陽光地区体験流しそうめん | 52.4% (88名) | 49.4% (77名) |

問4 大人に対しての注文はありますか(どのようなまちにして欲しいですか)。

| | 小学生 | 中学生 |
|-------------------|--------------|-------------|
| みんなが挨拶するまち | 29.2% (49名) | 27.6% (43名) |
| ごみのないきれいなまち | 48.8% (82名) | 42.3% (66名) |
| 交通事故のないまち | 60.7% (102名) | 44.9% (70名) |
| 駅や学校に行くバスなどがあると良い | 30.4% (51名) | 30.1% (47名) |
| 不審者や事件の起きないまち | 72.0% (121名) | 52.6% (82名) |
| 体育関係の行事を増やして欲しい | 28.6% (48名) | 16.0% (25名) |
| 室内の楽しい行事を増やして欲しい | 37.5% (63名) | 16.7% (26名) |
| 勉強できる場所を作って欲しい | 23.2% (39名) | 24.4% (38名) |
| みんなと集まれる場所を作って欲しい | 60.7% (102名) | 41.0% (64名) |
| 大人と話せる行事を作って欲しい | 9.5% (9名) | 5.8% (9名) |

問5 あなたが住んでいる陽光地区を良いまちにするためにあなたは何ができますか。

| | 小学生 | 中学生 |
|-------------------|--------------|-------------|
| まちの清掃やごみ拾いを進んで行う | 29.2% (49名) | 27.6% (43名) |
| 地域のみなさんといつも挨拶する | 48.8% (82名) | 42.3% (66名) |
| 交通違反などをしない(安全に通学) | 60.7% (102名) | 44.9% (70名) |
| お祭りや地域行事に進んで参加する | 30.4% (51名) | 30.1% (47名) |
| 育成会の行事に参加し後輩と遊ぶ | 72.0% (121名) | 52.6% (82名) |
| 何もしない・何もできない | 28.6% (48名) | 16.0% (25名) |

問6 10年後の陽光地区がどんな「まち」になったら良いと思いますか。

| |
|---|
| <p>《小学生の意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが挨拶をするまち ・ごみのないきれいなまち ・安全で安心なまち ・やさしい人がいっぱいなまち ・交通事故がないまち ・不審者がいないまち ・自然いっぱいのきれいなまち ・静かで子どもが自然に触れ合えるようなまち ・コミセンで勉強ができ、安全に遊べる公園のあるまち ・お祭りなどの楽しい行事が多いまち ・駄菓子屋がたくさんあるといい ・学校にゲームを持っていけるまちになって欲しい ・コミケ、アニメイト、ゲーセンなどができるといい ・都会すぎても田舎すぎてもいやなので丁度よくて環境にやさしいまち ・デパートやショッピングセンターのようなお店ができて欲しい ・そのままでもいいと思う ・地下に電線をうめる工事を増やして電柱を減らして欲しい。 |
| <p>《中学生の意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみが少ないきれいなまち ・事件事故のない安心安全なまち ・活気あふれるまち ・みんなから愛されるまち ・挨拶できる元気なまち ・明るいまち ・地域の人達が仲良く過ごせるまち ・子どもから高齢者までみんなが笑顔になるまち ・犯罪や不審者のいない平和なまち ・同級生と集まれるまち ・静かなまち ・バスなどもっと交通が便利になると良い ・自然と共存しながら生活も豊かなまち ・保育園などの育児施設を増やしたい ・もっと子どもがたくさんいるまち ・他の地域にPRできる物や特産物を増やして欲しい ・通学路が整備されたまち ・地域行事にたくさん人が集まるまち ・子どもが外で元気に遊べるまち ・みんながここに住んでいて良かったと思えるまち ・安心して暮らせるまち ・学力の向上を目指す学習施設が欲しい ・デパートができて利用しやすいまち ・総合運動公園が近いので、スポーツが盛んなまち ・総合運動公園の桜並木を復活させたい ・お店がたくさんあって都会のような街並み |

X 参考資料

1 陽光地区地域ビジョン策定委員会設置要領

(目的)

- 1 陽光地区の将来のあるべき姿およびその実現に向けた取組みを検討するため、陽光地区地域ビジョン（以下「地域ビジョン」という）策定委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(構成)

- 1 委員会は、陽光地区まちづくり推進協議会（以下「協議会」という）が設置し、委員は各種団体から推薦された者、学識経験者、その他策定に当たり協議会が必要と認めた者（以下「策定委員」という）で構成する。
- 2 策定委員の任期は3年とする。

(委員長等)

- 1 委員会には、委員長1名、副委員長1名を置く。
- 2 委員長、副委員長は、策定委員の中から推進協議会長指名で選任する。
- 3 委員長は、委員会の運営・統括を行い、副委員長は、委員長の補佐、委員会の進行を行う。

(事務局)

- 1 委員会には事務局を置き、事務局長は委員長が選任する。
- 2 事務局長は事務を掌る。
- 3 事務局には若干名の事務局員を置く。
- 4 事務局は陽光地域コミュニティセンター（宇都宮市緑5丁目8-8）内に置く。

(業務)

- 1 策定委員は、地域ビジョンの策定にあたり、次の業務を行う。
 - (1) 地域の意見等の取りまとめ
 - (2) 将来の構想および計画づくり
 - (3) 地域まちづくりへの提言
 - (4) その他目的達成のための必要な事項

(情報共有)

- 1 策定委員会は、地域ビジョン策定にあたり、地域住民への趣旨のPR、各種団体との調整を行うとともに、情報を共有し円滑な業務遂行に努める。

(会議)

- 1 策定委員会は、委員長が招集する。
- 2 委員長が必要と認めるときは、協議会役員および委員以外の者を会議に出席させ、説明もしくは報告または意見を求めることができる。
- 3 策定委員会における経過および結果については、協議会全員において報告する。

(情報公開)

- 1 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。

(その他)

- 1 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成27年度総会から施行する。

2 陽光地区地域ビジョン策定の経過

| 年 | 月 | 日 | 会議・議題等 |
|----|----|----|--|
| 26 | 9 | 22 | 地域ビジョン研修会「地域計画（地域ビジョンとは）」 |
| 27 | 7 | 2 | 第1回地域ビジョン策定部会勉強会 「地域ビジョン策定に向けてのポイントや手順について」 |
| | 9 | 3 | 第2回地域ビジョン策定部会勉強会 「策定手順，策定体制，陽光地区の診断書検討など」 |
| | 11 | 21 | 第3回地域ビジョン策定部会勉強会「意見交換」 |
| 28 | 2 | 6 | 地域ビジョンに関する講話の開催 「明保地区明るいまちづくり協議会 会長 島田弘二氏」 |
| | 5 | 19 | 策定委員会の体制について打合せ |
| | 6 | 6 | 策定委員会の進め方について打合せ |
| | 6 | 24 | 第1回地域ビジョン策定委員会全体会議 「今後の取り組み方，進め方について」 |
| | 7 | 30 | 地域ビジョン策定広報紙創刊号発行 |
| | 9 | 26 | 第2回地域ビジョン策定委員会全体会議 「グループワーク・住民アンケートについて」 |
| 29 | 1 | 16 | 小・中学生アンケート調査依頼 陽光小学校4年生以上（168名），陽南中学校（陽光小出身者） |
| | 1 | 20 | 小・中学生アンケート回収・分析 |
| | 1 | 29 | 小学生との座談会 |
| | 1 | 30 | 住民アンケート調査 配布（1,774世帯） |
| | 2 | 28 | 住民アンケート調査 回収（回答1,105世帯：回答率62.3%） |
| | 3 | 17 | 小・中学生アンケート・座談会 結果集計 陽光小学校（168名），陽南中学校（156名） |
| | 3 | 31 | 住民アンケート調査集計（3月1日～31日） |
| | 5 | 13 | ビジョン策定に伴う講演会 「富屋地区地域ビジョン策定委員会委員長 池田貞夫氏」 |
| | 7 | 18 | 第3回地域ビジョン策定委員会全体会議 「住民・小・中学生アンケート集計結果について」 |

| 年 | 月 | 日 | 会議・議題等 |
|----|----|----|--|
| 29 | 7 | 29 | ふるさと陽光まつり シンボルマーク（花・木・鳥）を地域住民に投票してもらう |
| | 9 | 20 | 第4回地域ビジョン策定委員会全体会議 「シンボルマーク選定方法検討について」 |
| | 10 | 23 | 第5回地域ビジョン策定委員会全体会議 「ビジョンまちづくり実現の計画について」 |
| | 11 | 27 | 第6回地域ビジョン策定委員会全体会議 「ビジョン（キャッチフレーズ）決定」 |
| 30 | 1 | 31 | シンボルマーク募集メ切 |
| | 2 | 6 | シンボルマーク選考委員会 |
| | 3 | 16 | 第7回地域ビジョン策定委員会全体会議 |

※策定委員会事務局会議（世話人・事務局）は、全体会議の前にその都度開催した。



3 陽光地区ビジョン策定委員名簿

| グループ | 役 職 | 氏 名 | 所属団体等 |
|------|-----------|---------|------------------|
| 1 | リ ー ダ ー | 古 川 弘 | 子ども会育成会長 |
| | 副 リ ー ダ ー | 岡 本 良 | 青少年育成会長 |
| | 委 員 | 佐 藤 孝 | 老人クラブ連合会長 |
| | 委 員 | 野 沢 吾 郎 | 陽光小学校PTA |
| | 委 員 | 植 木 美華子 | 陽光小学校PTA |
| | 委 員 | 野 澤 小百合 | 子ども会育成会 |
| 2 | リ ー ダ ー | 本 田 洋 一 | 社会福祉協議会長 |
| | 副 リ ー ダ ー | 上 野 秀 雄 | 緑4丁目自治会長 |
| | 委 員 | 竹 原 祥 子 | 民生委員児童委員協議会長 |
| | 委 員 | 山 口 晶 子 | 民生委員児童委員協議会 |
| | 委 員 | 半 田 トヨ子 | 民生委員児童委員協議会 |
| | 委 員 | 石 崎 悦 子 | 民生委員児童委員協議会 |
| | 委 員 | 鈴 木 真 木 | 民生委員児童委員協議会 |
| 3 | リ ー ダ ー | 駒 場 脩 平 | 今宮3丁目自治会長 |
| | 副 リ ー ダ ー | 北 垣 ゆかり | 青少年育成会 |
| | 委 員 | 中 山 弘 | まちづくり推進協議会 |
| | 委 員 | 池 田 高 明 | 今宮1丁目自治会長 |
| | 委 員 | 渡 邊 和 子 | 婦人防火クラブ会長 |
| | 委 員 | 石 川 順 一 | 交通安全協会会長 |
| | 委 員 | 小野寺 幸 次 | 安全推進協議会長 |
| 4 | リ ー ダ ー | 山野井 暉 | 今宮4丁目自治会長・体育協会会長 |
| | 副 リ ー ダ ー | 見 目 信 三 | スポーツ推進員 |
| | 委 員 | 山野井 好 子 | 女性部会長 |
| | 委 員 | 岡 本 麗 子 | 青少年指導員 |
| | 委 員 | 南 山 律 子 | 緑4丁目自治会副会長 |
| 5 | リ ー ダ ー | 加 藤 慈 郎 | 江曾島5丁目自治会長 |
| | 副 リ ー ダ ー | 北 垣 和 紀 | まちづくり推進協議会事務局長 |
| | 委 員 | 佐 藤 征 | 江曾島4丁目自治会長 |
| | 委 員 | 藤 田 晋 也 | 今宮1丁目自治会副会長 |
| | 委 員 | 石 附 清 司 | 交通安全協会副会長 |
| 6 | 委 員 | 大 嶽 浩 良 | 学識経験者 |
| | 委 員 | 村 上 卓 也 | 陽光小学校PTA会長 |
| | 委 員 | 吉 池 春 枝 | まちづくり推進協議会 |
| | 委 員 | 岡 田 義 治 | 今宮2丁目自治会長 |
| 事務局 | | 小 栗 秀 夫 | まちづくり推進協議会長 |
| | | 岡 田 義 治 | 地域ビジョン策定委員会委員長 |
| | | 池 田 高 明 | 地域ビジョン策定委員会副委員長 |
| | | 北 垣 和 紀 | まちづくり推進協議会事務局長 |
| | | 柳 田 昌 代 | コミュニティセンター職員 |
| | | 小 林 幹 野 | まちづくり推進協議会地域事務員 |
| | | 山 本 正 三 | 南市民活動センター |
| | | 天 谷 勝 也 | 南市民活動センター |
| | | 齊 藤 和 枝 | 南市民活動センター |